



えがおがいっぱい

2月



カマキリの卵行方不明事件! ?

お寺の築山（親鸞様の像が立っていると
ころころ）の幼稚園側、コアラの像の頭上
辺りに、金柑の木があります。

毎年今の時期になると、多くの実を付け
ています。

ある日、登園して来た年少組の A 君が、
お母さんと一緒にじ〜っと金柑の木を見上
げていました。何を見ているのかな?と思
って私も近くに行くと、金柑の木の枝に、
カマキリの卵がありました。



A 君は、毎朝お母さんと一緒にこの卵を
見るのを楽しみにしていたようです。

それからは、私も毎朝出勤時に、確認す
ることが密かな楽しみになっていました。

そうしてある日の朝、いつものように卵
を見て職員室へ行こうとしたところ、あ
ったはずの卵が無くなっていました。あれ?
どこにいったのかな??生まれるのは春と
聞いていたのに?

すると、同じく卵のことを気にかけてい
たB先生が、金柑の折れた枝をたくさん握
って教えてくださりました。

金柑の木は、カマキリの卵のお家では
たが、と同時に、金柑の実は、カラスの大切な
お食事でもあったようです。カラスが実を
食べる姿もあったようで、枝ごと持って
いくこともあったのかもしれない。もし
くは、カマキリの卵も金柑の実と一緒に食
べてしまったのか・・・。

カマキリの卵の孵化を楽しみにしていた
A 君とお母さん、そして、A 君から教えて
もらっていた他の子どもたちは、残念な思
いをしたことだろうと、生きとし生けるも
のの摂理とは言え、こどもたちのことを思
うと、私も悲しくなっていました。

幼稚園型認定こども園 和光幼稚園
令和4年2月28日(月)
主幹 三月田 智子

卵があれば、いつか孵化して、カマキリ
の赤ちゃんがたくさん生まれて。それを見
て喜ぶことだろうと『当たり前』のよう
に思っていました。そうではないのですね。

春になって、無事に孵化し生まれてきた
カマキリの赤ちゃんたちは、たくさんの危
機を逃れて生まれてくるのでしょうか。無
事に生まれても、幼虫から脱皮を繰り返して
成虫になるまでには、様々な困難があっ
て、何匹が生き残っているのでしょうか。



また、今回は、カマキリ目線で考えてし
ましたが、犯人がカラスだったとして
も、カラスも生きていくために餌を探して、
金柑の実を見つけたのだらうし、枝はこれ
から始まる巣作りに必要なのかもしれま
せん。



改めて、何でもない毎日が『当たり前』
ではないのだと【カマキリの卵行方不明事
件! ?】をとおして気付かせてもらい、また、
それぞれの立場でいろいろな見方がある
と思いました。

幼稚園教育は、直接体験で学ぶことが
たくさんあります。これからも、小さなカ
マキリの卵に気付いた A 君のように、身
近な自然や生き物など、いろいろな事に
興味関心を抱き、その変化や不思議さ
などの直接体験から経験し学ぶことを
大切にしていきたいです。

カマキリの卵さん。きっと、どこかで
無事できて、生まれてくれることを信
じていたいと思います!

